

学校生活の基本的な約束



この約束は教育目標に照らし合わせ、生徒が遵守すべき学習上、生活上の規律であり、生徒が健全な学校生活を送り、よりよく成長・発達していくために設けています。

本校においては、この約束を生徒議会等で生徒が議論することで、その意義や有用性を多面的に検討し、さらに家庭の事情や費用面等を含めて総合的に判断して、最終的には校長により定められてきました。例えば、防寒着に関する内容は令和 3 年度生徒会の取組による成果の一つです。しかし、議論した当時の生徒はその意義を理解し、うまく運用できていても、時間の経過とともに、意義が失われ、不適切な状況を招くこともあるでしょう。その際には、再び、生徒議会で議論し、学校、地域の状況、時代の変化等に合わせて、内容を変更していきましょう。

1 制服や身なり

(1) 制服

ア 男子

- ① 冬服：標準マーク入り学生服で体の大きさにあったもの
 - ・カラーの形は従来のものでもラウンドエバーカラーも可とする。
 - ・前ボタンは5つ、袖口ボタンは2つずつつける。
 - ・ベルトは必ず着用する。黒、紺、茶の無地とする。
 - ・靴下は白・黒・紺系の色を基調とする華美でないものとする。
 - ・ルーズソックスなどの特殊なソックスは不可とする。
- ② 夏服：白の開襟シャツと黒の学生ズボン
 - ・ベルトは必ず着用する。黒、紺、茶の無地とする。
 - ・靴下は、冬服のときと同様とする。



イ 女子

- ① 冬服：紺のセーラー服
 - ・襟は紺とする。(黒も可)
 - ・襟のラインは5mm 2本で色は淡桜色とする。(白も可)
 - ・学校指定の桜色のリボンを着用する。
 - ・スカート丈はひざが隠れることを目安とし、基本的に折らない。(長すぎは相談)
 - ・袖ホック、胸ホックは必ずとめる。
 - ・靴下は白・黒・紺系の色を基調とする華美でないものとする。
 - ・ルーズソックスなどの特殊なソックスは不可とする。
- ② 夏服：上着は白、スカートは紺のセーラー服
 - ・襟は紺とする。(黒も可)
 - ・襟のラインは5mm 2本で色は淡桜色とする。(白も可)
 - ・学校指定の桜色のリボンを着用する。
 - ・スカート丈はひざが隠れることを目安とし、基本的に折らない。(長すぎる場合は相談)
 - ・胸ホックは必ずとめる。
 - ・靴下は冬服のときと同様とする。

女子制服価格の目安		
冬	セーラー	20,614円程度
	スカート	16,732円程度
夏	セーラー	7,624円程度
	スカート	11,149円程度
	リボン	1,786円程度
		約57,905円

ウ その他

- ・制服の移行期間は設けず、気温や体調に合わせて各自で判断する。
- ただし、学校から指定のあった場合(式典や行事等)は学校の指示に従うものとする。

(2) 制服の下に着るもの

ア 冬服時

- ・ 学生服の下には夏の開襟シャツまたは白のカッターシャツか体操服、セーラー服の下には、白の下着か白のTシャツ（ワンポイントまで可）か体操服を着用する。
- ・ 寒さに応じてセーター、トレーナー等は着用してよいが、制服から出さない。フード付きパーカーなど、制服から出るものは不可とする。

イ 夏服時

- ・ 制服の下に白いシャツか半袖シャツを着用する。
- ・ 体操服も可とする。

(3) 名札

- ・ 学校指定のものを胸ポケット部につける。(学年によって線の色が異なる)
- ・ 名札にシール・キーホルダー等につけない。
- ・ 注文は学校で行う。

価格の目安

上履き（ムーンスター製 スクールサンダル04）	1,595円程度
体育館シューズ（ムーンスター製）	3,330円程度
学校指定のバッグ（林利次商店製、3年間修理保証付）	8,800円程度

2 靴、上履き、通学バッグ

(1) 靴

- ・ 白色、黒色、紺色を基調とし、通学と運動に適したものとする。
- ・ ハイカット、スパイク、華美なものは不可とする。

(2) 上履き

- ・ 学校指定のスリッパ



(3) 体育館シューズ

- ・ 学校指定の体育館シューズ（ラインカラーは赤）
- ・ 体育館と柔剣道場で使用する。



(4) 通学用バッグ

- ・ 学校指定の通学用バッグ
- ・ 取り間違いを防ぐために、お守り程度の大きさの目印を1つつけてもよい。
- ・ 荷物が通学用バッグに入らない場合は、華美ではないバッグを使用してもよい。
- ・ 教科書・ノートは学校に置いていってよい。指定された場所に置く。



3 体操服について

(1) 体操服

- ・ 藤岡南中学校指定の体操服とする。
- ・ ジャージ上下、半袖シャツ、ハーフパンツを体操服とし、保健体育科の授業で着用する。また、半袖のシャツの下に長袖のインナーを着てもよい。
- ・ 冬場…学校指定のジャージ上下、学校指定の半袖体操服、学校指定のハーフパンツを着用する。
- ・ 夏場…学校指定の半袖体操服、学校指定のハーフパンツを着用する。



(2) ジャージ

- ・ ジャージの下には必ず体操服を着るようにする。

体操服・ジャージ価格の目安			
= S S ~ L L の場合 =			
・ 冬 (ジャージ上)	5,940円程度	(ジャージ下)	3,300円程度
・ 夏 (半袖シャツ)	3,355円程度	(ハーフパンツ)	2,288円程度
<4点合計> 14,883円程度			
= 3 L =			
・ 冬 (ジャージ上)	6,820円程度	(ジャージ下)	3,630円程度
・ 夏 (半袖シャツ)	3,795円程度	(ハーフパンツ)	2,640円程度
<4点合計> 16,885円程度			

4 頭髪について

- ・ 清潔感のある自然な髪型で、前髪は目にかからない。
- ・ 着色、脱色、パーマ、その他特殊な加工はしない。
- ・ 整髪料は使用しない。
- ・ 髪が肩にかかる場合は1つか2つにまとめる。
- ・ まとめるものは、目立たない色のゴムやピンを使用する。

5 持ち物について

- ・ 持ち物には記名をする。
- ・ 授業等に不要な物は持ってこない。(お菓子・携帯電話・化粧品など)
- ・ 制汗スプレーは使用不可とするが、無香料の汗拭きシートのみ使用可とする。
- ・ 日焼け止めは使用可とする。
- ・ くしやリップクリーム、ハンドクリームは使用可とする。リップクリームは、無色のものとする。
- ・ カッターやナイフなど、刃物は学校に持ち込まない。

6 防寒具・防寒着について

(1) 登下校時の防寒具

- ・手袋、マフラー（ネックウォーマー）の使用を認める。
- ・防寒具はロッカーに収まる大きさのものとする。

(2) タイツ・レギンス

- ・色は黒色のみ。ラインや柄などが入っていないもの。目安は 80 デニール以上。
- ・柔道の授業など、指示があった場合には脱ぐものとする。
- ・タイツのときは靴下を履く必要はない。タイツが滑りやすいと感じる人は、靴下をはいてもよい。レギンスの場合は靴下を着用する。

(3) ブランケットの使用

- ・色や柄などは特に指定はないが、落ち着いて授業に集中できるものは使用を認める。
- ・教室を離れる際は、ロッカーの中か椅子の座面にきれいに畳んでしまう。
- ・授業や集会等での使用を認めるが、(不正行為防止のため)テストの時は使用不可とする。

(4) その他

- ・カイロの使用を認める。学校で捨てない。
- ・寒さを感じる場合、男子は制服の下にジャージを、女子は制服の上からジャージを着て授業を受けることを認める。

7 登校の時間と遅刻の対応

- ・7：45前には、基本的に登校しない。
- ・欠席・遅刻の場合は、8：00までにきずなネットで保護者が学校へ連絡する。連絡が8：00以降になる場合は保護者が電話で学校へ連絡する。
- ・8：10までに着席する。
- ・遅刻した場合は自分で門を開閉し、職員室に報告をして教室に行く。
- ・8：15～15：30は、正門、自転車置き場横の門は閉める。

8 自転車通学

(1) 自転車通学ができる生徒

- ・自転車通学が許可される地域の生徒で、自転車通学を申し出た生徒とする。
- ・「自転車通学許可願」を提出し、認定ステッカーを自転車に貼る。

(2) 自転車通学が許可される地域

- ・市の基本的な基準（中学校を中心に半径2kmを超える区域について自転車通学を許可）に準じる。
- 【深見町、田茂平町、西中山町広クテ、西中山町荒子1番地・62番地の生徒】

(3) 自転車通学の服装

- ・男子…制服かジャージかハーフパンツ、防寒具
- ・女子…ジャージかハーフパンツ、防寒具

(4) 使用する自転車について

- ・自転車のスタンドが、両足スタンドのものを使用する。

(5) 自転車通学者の規則について

- ・荷物が重たい場合は、自転車の荷台にくくりつける。その他の荷物は前かごを利用する。
- ・ヘルメットのあごひもは、きちんとしめること。ヘルメットについては学校指定のものはない。
- ・学校の敷地内は、自転車から降りて、引いていく。
- ・道路を横断するときは、自転車から降りて引いて渡る。
- ・雨天時はカッパを着用し、傘をさして乗車はしない。
- ・左側通行を原則とする。
- ・スピードを出しすぎない。
- ・信号のない交差点は一旦停止し、飛び出ししない。
- ・二人乗り・並列走行・ノーヘル走行等の危険走行はしない。
- ・集団下校している小学生を追い越す時にはベルを鳴らし、必ず自転車から降りる。
- ・規則を守らない者は、学校長の指示により自転車通学の許可を取り消す。

9 バス通学について

- ・バス利用者は、田茂平町、深見町（向イ洞、御内平、洞田）の生徒
- ・バス停では、騒いだり、広がったりするなど他の人に迷惑になる行為をしない。
- ・下校時にバスの時刻まで時間がある場合は、保健室等で自習をして待つ。

10 送迎について

- ・必要があって送迎してもらう場合は、正門横の駐車場で乗り降りする。
- ・体育館前や自転車置き場横の門では車を待たない。